第 21 回北上市史編さん委員会（要旨）

1 日 時 令和 7 年 2 月 18 日（火）午後 1 時 30 分～ 3 時 55 分

2 場 所 市役所本庁舎 5 階第 1 会議室

3 出席者

市史編さん委員 6 人 市史編さん専門委員 3 人

事務局 5 人

4 内 容

(1) 開会

(2) 委員長あいさつ

編さん事業も終盤となっている。これまで専門委員の方々には、取材や執筆活動をしていただき感謝申し上げます。本日は、近世部会長、近代班長、現代班長の 3 先生に目次案、構成案の説明をいただくことになっている。いい掛け合いができ、8 年度の完成に向けて有意義な意見交換になるようお願いしたい。

(3) 報告

1) 各部会の進捗状況について

○各部会の状況について、担当者から説明をした。

2) 付帯事業について

○今年度の事業等の結果について説明した。

(4) 協議

1) 「通史編 2 近世」の目次案について

○近世部会長から目次構成案についての説明があった後、編さん委員からの質疑を行った。

(委員からの意見)

・第 1 章を総説とし、50 ページとしているが少なくないか。その分量で全体を示せるのか。

⇒ 長すぎると各章の分野で書くべきところに踏み込んでしまうので、第 1 章では背景となる所を描く予定である。詳しくは各章で書いてもらう。

・和賀氏を研究している人が多いが、近世ではどの程度取り扱うのか。

⇒ 近世でも和賀氏について触れておかないと中世から接続しないので取り上げるが、和賀氏は主に中世で扱うこととなる。

・第 4 章で川の治水に関して、本格的な治水は明治になってからだと思うが、江戸時代と明治の治水は分けて書くのか。

⇒ 近世における治水のあり方、水害に対してどのように人々が工夫しながら対応していったのかを描く予定。本格的な河川改修等は近代に取り上げていただくことになる。

- ・藩境の原点は何かという視点は近世でも必要だと思う。
- ⇒ 対立があったという視点は取り入れて書く予定であるが、それだけではなく、人や物の移動があったという新たな視点も入れながら描いていきたい。

2) 「通史編3 近現代」の構成案について

○近代班長と現代班長から構成案についての説明があった後、編さん委員からの質疑を行った。

<近代>

(委員からの意見)

- ・鐵道の開通と河川交通の変化については、北上川周辺地域も含めて広い視点で入れてはどうか。(鐵道と河川交通の切り離しはどの地域でもあった。)

また、河川改修については、北上川、和賀川の堤防に関する事項を取り上げてほしい。通史編は文字だけでなく、図版や写真を多く入れてほしい。

⇒ 鐵道や河川交通が他の地域との関連の中でどう広がっていったかについては取り上げ方を検討していく。

図版等は本文の上段に目に見える形で資料を入れていく。

- ・黒沢尻の地主制度を分かりやすく入れてほしい。
- ・戦時体制について、「戦時」は日中戦争時と太平洋戦争時では国民感情が違っていたことを読者が理解できるように記述してほしい。

⇒ 国民感情を書き分けることは難しいので、一旦課題として持ち帰りたい。

- ・戦争遺跡を調べて入れてほしい。

⇒ 後藤野の飛行場は資料編でも取り上げているが、追加して資料編に今から入れることは難しいので、通史編で可能であれば補っていきたい。

<現代>

(委員からの意見)

特になし

<近代・現代共通>

(委員からの意見)

- ・近現代は時系列で書くとのことだが、その時代の特徴を捉えて歴史を総括する部分を付けた方が、読者が理解しやすいのではないか。

⇒ 歴史の評価が定まっていないこともあり、近世のように分野でまとめることは困難である。

簡単な概説を付けることは可能かと思うが、近代と現代では全く違うので書き方は難しいところがある。

近代と現代は同じスタイル(編年)なので、近世(分野別)と違っていてもよい。

・戦争に対する怒りがほかの市史にも書かれていない。市史でも訴えるべき。
⇒ 執筆の自由が認められることはありがたい。資料編「近代」には、自由が奪われていくことが分かる資料を集めている。

資料編「現代」では終戦直後の様子が分かるものを掲載している。

資料編「近代」では昭和 20 年の北上を取り上げている。

・動員体制下での戦時郵便について取り上げていただきたい。

⇒ 軍事郵便は量が多く、記念館では既に資料集を出していることから近代では別の形で対応したい。平和記念館は現代で取り上げていくところである。

3) 資料編「近代」の原稿案について

ア 区制の変遷に関する十分な資料がないため、通史編で詳しく説明したいがそれでよいか。

(委員からの意見)

特に意見なし

イ 学校教育と文化を 1 つの章にまとめたがそれでよいか。

(委員からの意見)

・学校教育と廃仏毀釈が結びつかない。

・以前は寺子屋だったこともあり廃仏毀釈を行うことで仏教と学校教育を切り離そうとしたとも解釈できるので、このまとまりで問題ないと思う。

ウ 北上市域の昭和 20 年がわかる資料を時間に沿ってまとめているが、このような構成でよいか。

(委員からの意見)

・昭和 20 年は特別な年であったことから、これでよいと思う。

エ その他

・現代編で戦後の混乱期でもある昭和 21 年から 25 年の間の資料があまりなかった。慰霊碑や供養碑が各地区にあると思う。

⇒ 昭和 20 年から 25 年の間の資料は先生方もあまり見つけられなかった。和賀新聞から闇市などの資料は資料編「現代」に載せている。

供養碑の扱いは先生方に伝えて検討していく。

(結論) 原稿案のとおりでよい。

4) 北上市史編さん基本計画の見直しについて

[事務局案]

資料編「近代」の刊行計画を令和 6 年度から令和 7 年度に変更する。

ただし、通史編の作業に影響しないように令和 7 年 6 月刊行で進める。

(結論) 事務局案のとおりで承認する。

(5) その他

(6) 閉会